

## 地域ボランティア プログラム

### 「小学生との竹炭・竹笛づくり」

2016/12/3



12月3日(土)、本学の南大沢キャンパス松木日向緑地にて、南大沢小学校の子どもたちとその保護者を迎え、竹炭・竹笛づくり等を行いました。8人の子どもたちが参加し、10人の大学生と「ひなた緑地遊学会」のメンバーで、子どもたちに作り方を教えたり、体験のサポートを行いました。



子どもたちは、竹笛(うぐいす笛)をつくるグループと竹を適当な長さに切り、4つ割にするグループとに分かれて交代で体験しました。

竹笛づくりでは、前回の活動で、遊学会の方から教えていただいた作り方やコツを、今度は大学生から小学生に伝えました。また、竹切り・竹割りでは、初めてのこぎりを使う子どもたちに対して、アドバイスをしながらも最後まで自分の力でできるように見守っている姿が印象的でした。

子どもたちは、とても意欲的に取り組んでいました。学生たちは、安全面に配慮しつつも、子どもたちができるだけ主体的に活動できるように、一人ひとりに合わせたサポートを行っていました。

学生からは、「今回のような活動では主役は小学生だと思うので、なるべく多くの作業を彼らだけでできるように助言しサポートするのが私たちの役目だと思った」「子どもに知ってほしいこと、学んでほしいことが伝わっているかも意識しないといけないと感じた」「活動の当事者として意識する必要があると考えた」という感想が聞かれました。単に、楽しんでもらうだけでなく、この活動の意味を伝えたり、お客さんとしての参加ではなく、子どもたちの主体的な学びや成長も意識して取り組んでいたようです。

活動終了後には、保護者の方が豚汁や焼き芋もつくってください、全員で美味しくいただきました。

今回、子どもたちから大学生、保護者の方、もう少し年配の遊学会の方まで、あらゆる世代の人が松木日向緑地に集い、それぞれの役割で関わり、学びあい、交流しあうことができました。この活動が目指すところに一歩近づくことができたように思います。

